

本会におけるブロック長と ブロック災害対策担当(エリアコーディネーター)の役割について

・通常時(平時)における役割

①ブロック内の人材把握と人材育成

→ 人材把握により研修会等の企画・検討

災害フェーズと各期における理学療法(士)の活動(※図1参照)

②ブロック内における「受援体制の構築」

→ 人材把握と人材育成による体制強化とブロック間の連携

災害時における初動体制の強化

ブロック長およびエリアコーディネーターは、平時における役割として、該当ブロック内の「人材把握」や「人材育成」に努める。

多様な地域のニーズに添えていく上でも「人材把握」や「人材育成」は重要事項であり、これによって平時における地域課題に対する具体的な提案や支援も可能となる。ブロック内にどの程度の人的資源(人的インフラ)があるか、不足があれば近隣ブロックとの連携(ブロック間連携)も必要である。

・災害時における役割

《エリアコーディネーター》

① ブロック内会員の安否確認

② フェーズ毎に求められる支援活動内容と人材とのマッチング作業と編成

《ブロック長》

① ブロック内会員の安否確認情報の集約

② 本会災害対策本部への支援要請

③ 隣接ブロック間連携における情報発信および情報収集

災害時においては、エリアコーディネーター、ブロック長とともに「ブロック内および県内会員の安否確認」が最優先事項

地域包括ケアシステム推進の一環として本会の災害対策もあるという事をご理解ください。通常時(平時)における役割①につきましては、災害対策委員会講師派遣事業を積極的にご活用ください。



図1 災害フェーズと各期における理学療法(士)の活動



図2 本会災害時対応ガイドライン

(http://pt-kanagawa-saigai.com/common/pdf/guideline_O1.pdf)

本会における初動対応(発災後～72 時間)

1) 本会災害対策本部および現地災害対策本部の設置

本会会長は事務局または災害対策本部予定場所に災害対策本部を設置

- ・ 該当災害事象に関する災害対策本部組織編成の検討
- ・ 支援に関する方向性の決定

①コンセプト

②人的派遣(現地支援隊、本部支援)

③物的支援

- ・ 窓口となるコーディネーターとロジスティックスの決定
- ・ HP もしくは災害対策委員会 HP・SNS に掲示板を作成

(災害支援情報の迅速な更新)

- ・ 情報収集と分析

PT 協会災害対策本部および JRAT 事務局などと情報交換を行い支援要請があれば必要に応じて現地災害対策本部の支援を行う

《※本会が被災した場合》

2) 県内会員の安否確認 → 初動対応・先遣隊(情報収集隊)の派遣検討

情報収集とリハニーズ調査を目的とした本会の先遣隊を当該地区へ派遣し
現地災害対策本部・ボランティアセンター(VC)・行政、地域の担当保健師
との連携を図る。

- ・ 必要に応じて PT 協会災害対策本部へ支援要請
- ・ 県内における人的インフラの整備と支援時期に関するマッチング作業

3) 現地災害対策本部との連携

当該ブロックエリアコーディネーターとロジスティックスを被災地に設置される
災害 VC へ登録(ブロック代表者は窓口となり VC との情報交換を行う)し
同時に行政やその担当保健師とも連携を図る。

→VC は 2～3 日を目処に設置される

VC や行政、保健師等からの情報を基に派遣場所・人数・活動内容・物品等の
情報を得る